

## 平成29年度 事業報告

### <概要>

平成29年度事業計画に基づき、非常通信訓練、非常通信体制の総点検、非常通信に関する周知・啓発活動などの事業を行い、非常災害時における通信体制の確立の推進に努めてきました。

また、各事業については、関係各位のご協力のもと、概ね計画どおりに実施することができました。

非常災害時において迅速かつ有効に機能する通信体制を確立するため、当協議会の事業を充実していくことが必要です。

### 1 非常通信訓練等の実施

災害想定の下で実践的な訓練を行うことにより、平常時使用している通信手段が使用できない状況下における大規模災害等を踏まえた非常通信ルートの検証を行うと同時に、関係機関との連携を図り、訓練参加者の非常通信に関する認識の向上を図ることを目的として、次のとおり全国訓練を実施するとともに、地方訓練を実施しました。

なお、地方自治体等が主催する防災訓練への協力については、災害通信連絡訓練兼Lアラート全国総合訓練を実施しています。

#### (1) 第80回全国非常通信訓練（中央非常通信協議会の事業計画に基づく訓練）

- 実施日時  
平成29年11月29日(月) 13時30分～
- 参加機関（地方通信ルート関係：24機関）  
北海道（本庁、空知総合振興局）、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町
- 災害想定  
空知総合振興局管内の新十津川町夫婦山東麓を震源とする震度6強の地震が発生。
- 訓練の実施結果  
24ルート中24ルートについては、参加自治体から道庁までの開始から終了までに最大で3時間11分を要する結果であった。これは、空知総合振興局での災害報告FAXの取りまとめに時間を要したためであり、伝達方法等についての検討が必要である。訓練は、取りまとめに時間を要することを想定しており、概ね計画どおり実施することができた。  
訓練実施結果の詳細は、「平成30年度定期総会 資料編」に掲載。

#### (2) 平成29年度北海道地方非常通信訓練（地方非常通信協議会の事業計画に基づく訓練）

- 実施計画日時  
平成29年12月7日(水) 13時30分～
- 参加機関（20機関）  
北海道（本庁、後志総合振興局）、小樽市、島牧村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
- 災害想定  
積丹半島北東部を震源とした大規模地震が発生し、後志総合振興局管内では震度6強

を観測した。管内全域では、住宅崩壊の他に多数の地区において土砂災害が発生して住民が避難を開始した。

➤ 訓練の実施結果

19ルート中19ルートについては、訓練の開始から終了までに120分から159分を要する結果であった。これは、後志総合振興局での受信メールの取りまとめ及び各市町村へのFAX送信に時間を要したが、想定されていたものであり、概ね計画どおり、非常通信訓練を実施することができた。

構成員からは、普段、衛星回線を使用した通信訓練回数が少ないため、担当職員が通信機器操作の再確認及び習熟度向上させるために、非常に有意義な訓練になったとの意見があった。

(3) 漁業無線システムを利用した非常通信訓練

➤ 実施日時

平成29年10月10日(火)11時00分～

➤ 訓練主催

北海道地方非常通信協議会、東北地方非常通信協議会

➤ 訓練実施機関

北海道、福島県、余市町、余市郡漁業協同組合、福島県無線漁業協同組合

➤ 訓練想定

積丹半島北東部を震源とした震度6強の大規模地震により、隣接市町村への道路が崩落により寸断され、電力線・通信線の切断により町内全域において停電及び携帯電話を含むすべての通信の途絶が発生し、余市町と北海道庁の間における策定済みの地方通信ルートがすべて使用困難の場合を想定した。

➤ 訓練の対応

余市郡漁業協同組合所属の漁業無線局から、余市町の被災状況を北海道への伝達を要請する無線通報を行い、これに応じた福島県無線漁業協同組合所属の漁業無線局を介して福島県庁へ伝達し、福島県から衛星回線にて北海道庁まで伝達を行い、北海道からの返信として逆ルートをたどり余市町に伝達し、漁業無線システムの有効性を確認する等の訓練を実施しました。

併せて、北海道は、消防庁に対し消防防災無線（地上系）により内閣府に対する被災状況の伝達する訓練を実施しました。

➤ 訓練の実施結果

10月10日(火)11:00から、訓練実施機関の協力を得て実施。

作成したシナリオに沿って進行し、福島県側の衛星回線使用時に少々遅延が生じたが、おおよそ予定どおり11時55分に所定の訓練が終了した。

漁業無線の使用周波数が短波帯であったため、フェージング等の伝搬障害が予想されたが、特段問題無く情報の伝達を行うことができたことから、非常時における非常通信ルートとしての有効性が確認できた。

今後は、自治体と漁業無線局の日頃からの連携と災害発生時での全国の漁業無線局が被災地域の無線局の周波数を聴取することを行うよう関係団体に働きかけていくことが必要である。

(4) タクシー無線を活用した災害発生時での情報収集通信訓練

➤ 実施日時

平成29年8月29日(火)10時30分～

➤ 訓練主催

北海道地方非常通信協議会

➤ 訓練実施機関

北海道、一般財団法人北海道ハイヤー無線協会（つばめ交通株式会社、明星自動車株式会社）

- 訓練対応
 

北海道総合防災訓練にあわせて、札幌市近郊にて災害が発生し、市内各所にて被害が発生していることを想定。

迅速に道路状況や被害の状況などを把握出来るタクシーから危険地域等の情報をタクシー無線等を使用して行政(災害対策本部)に伝達し活用する伝達訓練等を実施しました。
- 訓練の実施結果
 

市内各所を走行するタクシーから会社間をタクシー無線で、会社から北海道災害対策本部間を防災無線を使用し被災情報の通報訓練を行い、スムーズな情報の伝達が行われ訓練を終了した。非常災害時において、被害状況や危険地帯の把握は必要不可欠なものであり、避難指示等の発令等、行政の対応にとって貴重な判断材料であることから、タクシー無線システムを活用した被災情報の収集伝達の有効性を確認した。

(5) 平成 29 年度 災害通信連絡訓練 (地震・津波) 兼 Lアラート全国総合訓練

- 実施日時
 

平成 29 年 5 月 25 日 (木) 09 時 00 分～
- 訓練主催
 

北海道防災会議
- 訓練実施機関
 

北海道防災会議構成機関、市町村

※北海道地方非常通信協会は協力機関として要請を受けました。
- 訓練対応
 

北海道防災会議が実施する津波警報・注意報、地震情報及び気象情報の伝達訓練にあわせて、非常通信ルートの使用の可否等の確認手順について、Lアラートを含めた図上訓練として、事務局で訓練を実施しました。
- 訓練の実施結果
 

訓練は概ね計画どおり実施することができた。

## 2 非常通信体制の総点検の実施

非常災害時における通信・放送の確保のため、無線局等の運用体制、設備等について十分に対処できる体制を整えることを目的として、次のとおり総点検を実施しました。

なお、無線設備については、送信出力低下、周波数ずれ、送信信号不良、マイク等不良、耐震不足があり、電源設備は主にバッテリー不良が多い状況でした。

### 実施期間

平成 29 年 9 月 14 日から 12 月 31 日まで (報告期限：平成 30 年 1 月 15 日まで)

なお、この期間以外で、別途点検を実施している場合は、その結果を報告する。

- 点検対象及び点検項目
  - ・ 原則として、構成員所属の全無線局。
  - ・ 点検項目は、中央非常通信協議会で策定した「総点検項目 (標準項目)」とし、点検事項としては、無線設備、空中線、電源設備、管理体制など。
- 対象機関
 

全構成員 (無線局を設置していない構成員は、非常時の連絡体制等を任意で点検。)
- 総点検の実施結果
 

報告書の提出：205 機関 / 311 機関 (平成 30 年 5 月)。

なお、実施結果の詳細は、「平成 30 年度定期総会 資料編」に掲載。

## 3 継続的な非常通信協議会の活動強化

中央非常通信協議会から、非常通信協議会活動の見直しの継続 (中央非常通信協議会平成 25 年度事業計画) に係る依頼があり、平成 29 年度においても次の作業を取り組みました。

(1) 非常通信ルートの見直し

実施結果：ルートの見直しはありませんでした（道市町村174機関を対象）。

(2) 非常通信対応マニュアルの作成

実施結果：新規作成及び変更の報告はありませんでした（未作成の道市町村95機関を対象）。

#### 4 非常通信に関する周知・啓発活動

防災意識の向上と災害対策に役立てることを目的に、次のとおり災害時の情報伝達等に関する講演会、セミナーを開催しました。

また、協議会の各種活動や非常通信に係る情報等について、電子メール及び専用ホームページ等を活用し、構成員等への周知・情報提供を行いました。

(1) 災害時の情報伝達等に関するセミナー等の開催

① 北海道地方非常通信協議会定期総会記念講演会

- ・ 日 時：平成29年6月29日（木） 15時20分～16時25分
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 講 演：『北海道の災害対策について』  
～平成28年8月から9月にかけての大雨等災害を振り返って～  
北海道総務部危機対策局危機対策課長 辻井 宏文 氏
- ・ 参 加：90名

② 非常通信セミナー2018

- ・ 日 時：平成30年3月19日（月） 13時30分～16時40分
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 講演1「気象情報の読み解き方」  
札幌管区气象台 気象防災部長 藤川 典久 氏
- ・ 講演2「防災行政無線の整備を終えて」  
由仁町 地域活性課 主査 大塚 郁代 氏  
置戸町 町づくり企画課 企画係長 和田 潤 氏
- ・ 参 加：123名

③ 防災関係通信機器の展示

ア 定期総会、記念講演会に併せて実施

- ・ 日 時：平成29年6月29日（木） 13時30分～16時45分  
（定期総会及び記念講演会の時間帯を除く。）
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 展示協力：一般財団法人移動無線センター、株式会社NTTドコモ北海道支社、  
KDDI株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、  
株式会社ネクステック、北海道総合通信局

イ 非常通信セミナー2018に併せて実施

- ・ 日 時：平成30年3月19日（月） 13時30分～16時40分  
（講演の時間帯を除く。）
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 展示協力：一般財団法人移動無線センター、株式会社NTTドコモ北海道支社、  
KDDI株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、  
株式会社ネクステック、北海道総合通信局

(2) 電子メール及び専用ホームページ等による情報提供

- ① 電子メール等による情報提供（依頼を含む。）

- ・H29. 5. 12 北海道地方非常通信協議会の幹事会の開催について
- ・H29. 5. 25 北海道地方非常通信協議会の定期総会及び記念講演会の開催案内
- ・H29. 7. 5 6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号に係る被害状況等について
- ・H29. 9. 1 台風15号による大雨等に伴う通信の確保等について
- ・H29. 9. 7 平成29年度「非常通信体制総点検」の実施について
- ・H29. 10. 23 台風21号に伴う通信の確保と被害状況等について
- ・H29. 10. 30 台風22号, 低気圧に伴う通信の確保と被害状況等について
- ・H29. 11. 15 第80回全国非常通信訓練の実施について
- ・H29. 11. 21 平成29年度北海道地方非常通信訓練の実施について
- ・H29. 12. 12 降積雪期における防災態勢の強化等について
- ・H29. 12. 25 低気圧に伴う暴風雪災害に係る通信の確保と被害状況等について
- ・H29. 2. 14 非常通信セミナー2018の開催について
- ・H29. 4. 23 平成28年度「非常通信協議会の活動の見直し」の継続について

## ② 専用ホームページによる情報提供

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/do-hi-kyokyo/new/new.htm>

- ・H29. 6. 15 平成29年度定期総会・記念講演会の開催について
- ・H29. 6. 29 平成29年度定期総会（記念講演会・機器展示）を開催
- ・H29. 11. 22 北海道地方非常通信訓練及び第80回全国非常通信訓練
- ・H30. 3. 2 「非常通信セミナー2018」の開催について

## 5 北海道地方非常通信協議会への加入促進

機会をとらえて、非常通信に関する機関、団体に対して勧誘を行いました。加入するまでに至りませんでした。

なお、平成29年度末現在の構成員数は、311機関です。

## 6 会議の開催

### ◆ 総会を次のとおり開催しました。

また、議題は、すべて承認されました。

- ・日 時：平成29年6月29日(木) 13時30分～
- ・会 場：ホテルポールスター札幌
- ・議 題：\* 平成28年度事業報告  
\* 平成29年度事業計画(案)  
\* 平成29年度役員等(案)

### ◆ 幹事会を次のとおり開催しました。

また、議題は、すべて承認されました。

- ・日 時：平成29年5月24日(水) 10時00分～
- ・会 場：北海道総合通信局 第1会議室
- ・議 題：\* 平成29年度定期総会の議案について  
\* 功績者の表彰について  
\* 北海道地方非常通信協議会定期総会記念講演会の開催について

### ◆ 非常通信要請会議は、会議を招集する案件がなく、開催していません。

## 7 功績者の表彰

### (1) 地方表彰

平成29年6月29日(木)に開催した、平成29年度定期総会の会場において表彰を行いました。

① 団体表彰

石狩市（総務部総務課危機管理担当） 様  
一般社団法人北海道ハイヤー無線協会 様

② 功績の概要

石狩市及び一般社団法人北海道ハイヤー無線協会は、策定している通信ルートが使用不能となった場合を想定した全国初のタクシー無線を活用した非常通信訓練に参画し、タクシー無線を活用した非常通信ルートの実効性の確認を行い、その有効性や諸問題を明らかにすることで、今後の活用の可能性など、多種多様な通信ルートの確保に寄与するなど、非常通信協議会の運営の充実に貢献したため。

(2) 中央表彰

平成 29 年 3 月 15 日（水）に開催した、中央非常通信協議会第 66 回総会の会場において表彰を行いました。

① 団体表彰

南富良野町 様

② 功績の概要

平成 28 年 8 月から 9 月にかけて台風の襲来を受け放送事業者も大きな被害を受け、デジタル放送用中継局の商用電源断による停波が発生したが、土砂で流出してしまった出向路の代替路確保等に尽力し、停波時間を最小限にとどめ、住民への情報提供手段の確保に貢献したため。

**8 非常通信必携（北海道地方版）の更新**

地方通信ルートや関係規程類などに変更がありませんでしたので改訂版の発行は行っておりません。

以 上